

川崎駅周辺における帰宅困難者対策訓練の実施計画案

1 目的

大規模地震発生時の川崎駅周辺における帰宅困難者による混乱の抑制に向けて、鉄道事業者、一時滞在施設、周辺施設等の関係者が連携した安全確保、避難誘導及び一時滞在施設開設訓練を、「川崎駅周辺の災害時における行動ルール案」に基づき行い、同ルール案の実効性の検証を図る。

2 訓練実施日

平成 25 年 11 月 20 日（水） 8：30～9：45

3 実施場所

一時滞在施設・・・協定を締結した施設数箇所
 その他施設・・・東口・西口駅前広場、商業施設
 情報受発信拠点・・・今後作成部会で設置の是非について検討

4 参加者

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会委員及び関係者等約 500 名

5 訓練内容

「川崎駅周辺の災害時における行動ルール案」による対応の検証

時間帯	訓練内容	場所
8 時 30 分	大地震発生時の対応 - 従業員・利用客の安否確認 - 施設の安全点検 ※ 安全の場合→施設内待機 ※ 危険な場合→避難場所への誘導	商業施設
9 時 00 分	帰宅困難者への情報提供と一時滞在施設への受入調整 - 運行情報、災害情報の提供 - 区役所、駅、一時滞在施設間相互の連絡調整 - 必要に応じ、情報受発信拠点を設置	駅、一時滞在施設、区役所、情報受発信拠点
9 時 20 分	一時滞在施設の開設と帰宅困難者の誘導 - 帰宅困難者受入れ - 備蓄品配布	一時滞在施設、情報受発信拠点
9 時 45 分	訓練終了	
10 時 00 分	講評	川崎商工会議所会議室